

江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
東京150年記念 「看板建築展」	平成30年3月20日～ 7月8日	関東大震災からの復興期、東京が近代的な街並みに変わるなか、各所に数多くの商店が新築されました。その中で、平らな表面に銅板やタイルなどを張り、 正面から見るとまるで一枚の看板のような「看板建築」 が登場しました。本展では、独自の景観を形作った「看板建築」について、当園に 移築、復元、公開している6棟 をはじめ、各地の例を取り上げます。その成立と展開を通じ、 東京独自の建築文化 を紹介します。
こどもの日イベント	平成30年5月4日、5日	ゴールデンウィーク期間の2日間 、子供たちが昔の暮らしの様子を体験できるイベントを開催します。商店建築が建ち並ぶ東ゾーンで、おつかいメモをもって商店を巡る「 買い物体験 」を行うほか、ベーゴマ、折り紙、風車作りなど、園内全体で 昔の遊び を存分にお楽しみいただけます。
七夕のつどい	平成30年7月7日、8日	東京の各地で見られた、七夕の情景を再現するイベントです。園内各所の 七夕飾り に、願い事を書き入れた短冊を飾り、七夕展示にご参加いただけます。復元建造物内では 盆飾り などを展示し、 初夏の伝統的な行事 を体験いただけます。
東京150年記念 「東京—都市とたてもの、ひと」展	平成30年7月24日～ 平成31年1月20日	東京誕生から150年 を記念し、本館の東京都江戸東京博物館と連動して実施する展覧会です。東京に建てられた様々な建造物をおして 都市の変遷 を紹介し、 街並みや暮らしの変化 を概観します。また、失われた建物の特徴や魅力、現代に受け継がれる 歴史的建造物の保存や活用 についても取り上げ、 都市東京の150年 において建築が果たした役割を明らかにします。
夜間特別開園 下町夕涼み	平成30年8月4日、5日 20時30分まで特別開園	開園時間を延長 し、夏の夕べの過ごし方を体感していただけるイベントです。「下町中通り」では復元建造物の店頭の様子を再現。灯りのともる通りには幻想的な街並みが広がり、広場に 盆踊り の櫓を組み、 夏祭りの風情 を感じることができます。民家では、夕べの涼やかな風を感じながら静かに過ごしていただけます。
体験！発見！職人さん	平成30年10月27日、 28日	体験と鑑賞(発見) を通し、 手仕事の世界 への理解を深めるイベントです。体験型のプログラムとして、建造物の修復や補修に係わる 職人から建築技術を学ぶワークショップ を開催します。また、鑑賞型のプログラムとして、 東京の伝統工芸士による製作の実演 などを実施し、職人の手わざを間近にご覧いただけます。

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

※「東京150年記念」について

平成30年は、江戸から東京への改称、東京府開設から150年の節目の年です。東京都では、これを記念し、東京の魅力を外内にPRする「Old meets New 東京150年」事業を展開しています。

＜お問い合わせ先＞

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711

<http://www.tatemonoen.jp/>

※ 開園時間:9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

※ 休園日:毎月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌日休園)、年末年始

江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
夜間特別開園 紅葉とたてものライトアップ	平成30年11月23日～25日 20時まで特別開園	秋の夜長、紅葉が深まる時季に合わせ、特別に 開園時間を延長 して行うイベントです。園内で美しく色付いた木々と、そこにたたずむ歴史的建造物を優しく柔らかな光で照らし出し、普段では味わえない 夜のたてもの園を散策 していただけます。民家の 囲炉裏 で暖をとる体験や、行灯やランプ、ガス灯など、 昔のあかり を学べる講座をはじめ、さまざまなプログラムもお楽しみいただけます。
たてもの園でお正月 「江戸の正月を楽しもう」	平成31年1月2日、3日	正月2日、3日に 入園料無料の特別開園 を行い、皆様をお迎えます。園内の復元建造物に しめ飾りや門松 を立て、新年にふさわしい 伝統芸能 をお楽しみいただけます。また、 江戸時代より庶民に親しまれていた宝船の絵 （印刷物）を、先着順でお配りします。
たてもの園でお正月 「正月の昔あそび」	平成31年1月5日、6日	新年最初の休日にあたる5日、6日に開催するイベントです。 羽根つきや独楽まわし などの外遊びや、 かるた、双六、福笑い などの室内遊び、 書初め 等のほか、お囃子の演奏等、 正月に行われてきた伝統的な行事 を体験することができます。お着物でお越しの方は割引でご入園いただけます。
武蔵野の歴史と考古学 —江戸東京たてもの園 収蔵品展	平成31年2月5日～5月12日	1993年3月に江戸東京たてもの園が開園する以前、1954（昭和29）年から93年（平成5）年まで、この地には、武蔵野の歴史と民俗をテーマにした「 武蔵野郷土館 」がありました。本展では、武蔵野郷土館から引き継いだ、 国指定重要文化財「土製耳飾 」（調布市下布田遺跡出土）をはじめ、原始古代から近現代までのコレクションの一部を公開し、地域の歴史をひも解きます。
たてもの園フェスティバル	平成31年3月21日～3月28日	春分の日から当園の開園記念日にあたる3月28日までの8日間 、子供から大人まで楽しめるイベントを開催します。 園内を巡るスタンプラリーやワークショップ の他、 建物について楽しく学べる「けんちく体操」 やアーティストによるパフォーマンスを実施します。桜のつぼみがふくらみ始める時季に、春の訪れを感じていただけます。

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)
電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711
<http://www.tatemonoen.jp/>
※ 開園時間:9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)
※ 休園日:毎月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌日休園)、年末年始